



今月の題字
ちづる
佐々木千寿瑠さん
(豊小5年)

町のわだい

全国少年少女レスリング大会 田畑さん(船小4年)が3位に入賞

第24回全国少年少女レスリング大会で、船越小4年の田畑葵唯さんが3位に入賞しました。大会は8月10日から12日まで東京都で開催され、田畑さんが出場した女子4年・+36kg級には全国から12人が出場。1回戦を順調に勝ち進んだ田畑さんは、準決勝で岡村優選手(茨城県)に惜しくもフォール負けしましたが、堂々の3位に入賞しました。田畑さんは「3位に入るとは思っていなかったの、とてもうれしいです。来年はさらに上位入賞を目指して頑張ります」と喜びを話していました



町内各地区で救急座談会 いざというときの対処学ぶ

山田消防署主催の救急座談会が8月18日から町内各地区で行われました。初日となる18日は荒川地区を対象に荒川農業構造改善センターで開かれ、地域住民6人が参加。消防署職員から救急車の利用方法や熱中症になったときの応急手当などについて、分かりやすく説明が行われました。参加した人たちは、救急に対する知識を深め、いざというときの対処法について学んでいました。同座談会は9月以降も開かれ、10月までに町内全地区で開催される予定となっています。



10年ぶりに花火大会が復活 夜空を彩る光の芸術に歓声

8月13日、山田町商工会青年部(山崎和夫部長)主催の第1回花火大会が山田漁港を会場に行われました。本町での花火大会は、平成9年を最後に中止されていましたが、今回10年ぶりに復活。久しぶりに本町で花火大会が開催されるとあって、町内外から多数の観客が詰め掛けました。この日打ち上げられた花火は大型の芸術玉をはじめ、海の上に広がる水中花火など、およそ2000発。山田漁港やオランダ島をテーマにしたスターマインも行われ、訪れた人たちは美しく夜空を彩る花火が打ち上げられるたびに歓声を上げ、拍手を送っていました。



船越家族旅行村で球根掘り体験 自然との触れ合いに汗を流す

8月26日、船越家族旅行村の水仙園で球根掘り体験が行われました。自然と触れ合い、町民同士の交流を図ることを目的として開かれたもので、当日は藤原長一さん(山田花卉研究会)の指導の下、参加者はスコップで畝を掘り、同園に植えられている水仙15万球のうち、1万球を掘り起こす作業に汗を流しました。同園には10月ごろ球根の植え付けが行われる予定で、来春にはきれいな花を咲かせて来場者の目を楽しませてくれそうです。



土地改良区合併予備契約の調印式 地域農業の発展に新たな一歩

8月3日、荒川土地改良区(斉藤國三理事長)と豊間根川土地改良区(勝山栄松理事長)の合併予備契約の調印式が行われました。式は役場3階ホールで行われ、関係者30人が出席。契約書に調印後、斉藤理事長は「よりよい土地改良区にすべく努力したい」、勝山理事長は「地域農業の発展のため、将来を見据えた取り組みに努めていきたい」とそれぞれ決意を述べました。新設合併し、「山田町土地改良区」として生まれ変わる両改良区は、12月の合併を目標に今後合併総会や事務手続きが進められていきます。

山田町戦没者追悼式に250人 冥福祈り恒久平和を願う

8月18日、山田町戦没者追悼式が町中央公民館で開かれ、遺族や来賓など250人が出席しました。黙とうの後、主催者を代表して沼崎喜一町長が「戦後、本町がこれまで発展することができたのも、戦没者の方々の尊い犠牲の上に築かれたものと肝に銘じ、平和の尊さを忘れることなく、心新たに山田町全住民の福祉に万全を期すべく努力することを誓います」と式辞。続いて昆暉雄町議会議員、藤原一二三遺族連合会長、山崎幸男町戦没者遺族連合会長らが追悼の言葉を述べました。この後参加者が全員が祭壇に白菊をたむけ、戦没者の冥福を祈りながら手を合わせていました。

